

平成25年7月21日
執行

選挙公報

大分県選挙管理委員会
(掲載順序はくじによる)

政界再編！大分から歴史をつくる



みんなの党公認
浦野英樹
(44歳)

政治とは何かを

民間の会社員から政治の世界に飛び込んで10年。社会保険労務士として仕事をしながら地盤ゼロの東京で地方議員の経験を重ねた浦野英樹が感じる「政治とは何か？」という問い。政治の仕事は「喜ばれること」だけではなく、国民に対して「つらいこと」もお願いしなければならないということ。だからこそ「プロセス」が大事であり、「弱者の視点」が大事であると考えます。「政策本位」の新しい政治の流れを大分からつくる為、「ブレない」生活者主権「みんなの党から、浦野英樹は挑戦します。

雇用拡大・増税凍結

■企業の雇用意欲を促進する規制緩和と減税・助成の拡大雇用を拡大し、勤労者の所得を増やすには、企業ととりわけ中小企業が、もっと人を雇いたい、給料を増やしたいという環境をつくる必要不可欠。事業拡大や、採用増加の障害となっている規制の緩和に加え、雇用のセーフティネットを大胆に拡充し、人に対しての支出に対しての減税・助成を拡大し、企業の雇用意欲を促進する施策を推進します。雇用意欲を減退させる消費税増税は凍結させます。

年金・社会保障改革

■ライフスタイルに中立な年金・社会保障制度の確立現行の公的年金・健康保険制度は、安定した組織（大企業・公務員）に属している程、負担が少なく、給付が多いのが現実。厚生年金・共済年金の一元化は、被用者年金間の格差は正にすぎず、第1号・第3号被保険者との格差、健康保険の格差の是正については、議論の先が見えない状態です。どのような働き方をしても、どのような組織に属していても、公平な形で保険料を負担し、公平に給付が受けられる年金・健康保険制度を確立し、ライフスタイルに中立で持続可能な社会保障制度の実現に向けての改革を推進します。

大分の電力をこれからの成長産業に

■自然エネルギー発電日本一の大分から先行事例をつくる再生エネルギー自給率日本一の大分県から、成長産業としての新しい電力ビジネスの創出に全力で取り組みます。ビニールハウスの温度調節に高い石油を費やなくとも、バイオマス発電を普及させることで地産地消の電力を実現することができ、小水力発電や地熱発電など、大分には再生可能エネルギーがあふれています。世界に誇る「グリーンエリア、大分」の実現に向け、全力で取り組んでいきます。また現時点で直面している問題として、高騰している石油価格の上昇の問題があります。石油価格の高騰により大きな打撃を受け続けている大分県内の農林水産業の救済策の実現にも、全力で取り組んでいきます。

浦野 英樹 (うらのひでき)
社会保険労務士・行政書士

昭和44年大分市出身。中津市豊田小、豊陽中、中津南高校を経て東京大学卒業。会社員を経て社会保険労務士・行政書士として独立。平成19年組織・地盤ゼロの中、完全草の根選挙で三鷹市議会議員(東京都)に上位当選。平成23年大分にUターンし社会保険労務士として、わかりやすく「年金・社会保障」を伝えるセミナー相談会を県内各地で開催。44歳。

<http://www.urano-office.biz>

【推薦人】

みんなの党 代表

渡辺 喜美

みんなの党 前衆議院大分3区支部長

神 雅敏

大分市議会議員

堤 智通

みんなの党
みんなの党

若さと
抜群の行動力

若者もお年よりも希望がもてる新しい政治を



日本共産党
山下 悠
かい

くらしと社会保障を壊し、原発再稼働、TPP交渉参加、憲法改悪、侵略戦争肯定へと暴走する安倍自公政権。民主党は自民党と対決する足場を持たず、維新、みんなの党は自民党政治の補完勢力にすぎないことがハッキリしました。今回の参院選は、「自共対決」の選挙です。「国民が主人公」の新しい政治へ向かうみなさんの一票を、日本共産党と私、山下かいにぜひお寄せください。

山下かいの5つの改革提言

1 国民の所得を増やして景気回復

消費税増税中止・増税するなら大企業と富裕層に消費増税10%にすれば、13・5兆円もの大増税、暮らしも景気も壊れます。賃上げや安定した雇用を増やし、中小企業への支援を抜本的に強めます。

2 即時原発ゼロ、再生可能エネルギーに転換

原発の再稼働、輸出の中止福島第1原発は、いまでも事故の真つただ中。再稼働も輸出も論外です。即時原発ゼロを決定し、再生可能エネルギーに大胆に転換します。

3 対等の日米関係へ

TPP参加もオスプレイの配備・訓練も、おおもとは「アメリカいいなり」の政治です。安保条約をなくしてこそ、対等・平等の日米関係が築けます。

4 憲法を守り、政治に生かす

96条改憲反対、戦争する国づくりストップ96条を改定し、改憲のハードルを低くするなど、いともたかありません。9条をはじめ、憲法の平和・人権・民主主義の原則を政治に生かします。

5 アジアと世界から信頼される日本に

侵略戦争の肯定・美化は許さないどんな問題でも現実的な改革を提案し、実現のために行動。創立以来91年、「国民こそ主人公」を貫いてきた政党が日本共産党です。みなさんの力で伸ばしてください。

比例代表は
日本共産党と
お書きください

●改革提言の詳細はホームページ <http://www.jcp.or.jp/>

山下かい略歴 ●1976年12月生まれ、36歳。NHK学園高校卒。由布市出身。●民間会社勤務後、2013年5月まで民青同盟県委員長。

上田あつこ

3つの挑戦で、大分をもっと元気にします。

- 1 愛しているなら国を守ろう**
 - 憲法9条を改正し、隣国の脅威から日本を守ります。
 - 日米同盟を基軸としつつ、自主防衛力の強化に取り組みます。
 - 改憲や国防の足かせとなる自虐史観を払拭します。
- 2 消費増税中止で、もっと強い経済へ**
 - 消費増税は中止します。日本経済の再建に必要なのは増税ではなく経済成長です。
 - 「200兆円未来国家建設プラン」により、高度経済成長を実現します。
 - 法人税の大幅減税で企業を元気にし、働き口と収入を増やします。
- 3 老後もイキイキ！生涯現役社会**
 - 高齢者の雇用や活躍の場を拡大し、もっと長寿を楽しめる生涯現役社会をつくれます。
 - 相続税・贈与税の廃止などによって家族の絆を強く、老後の不安をなくします。
 - 地域の絆を強化し、高齢者にとって住みよい街づくりを推進します。

挑戦しよう、日本。 幸福実現党

幸福実現党 公式サイト <http://www.hr-party.jp/> 上田あつこ 公式ブログ <http://ameblo.jp/uedaatsuko>

上田あつこ プロフィール 1967年3月8日 出身地：大分県大分市 最終学歴：同志社女子大学家政学部 主な経歴：幸福の科学 大分中央支部長、元・銀行員(大分銀行)

国防強化！
消費増税中止！
生涯現役社会！

比例は
「幸福」
とお書きください

略称：幸福



幸福実現党
上田あつこ
うえだ

平成25年7月21日
執行

参議院大分県選出議員選挙

選挙公報

大分県選挙管理委員会
(掲載順序はくじによる)

ごとう慎太郎プロフィール

大学卒業後、大分市農協勤務の後、農業生産法人・西日本農業社を立ち上げ、父母の故郷である野津町で本格的に農業を始めました。

現在、耕作放棄地を借り受け、30町歩(30ha)の田畑で米麦の耕作、ヘビリーフ・ショウガの生産・加工を行っています。

1975年(昭和50年) 大分市に生まれる(現在38歳)
1987年(昭和62年) 大分市立桃園小学校 卒業
1990年(平成2年) 大分市立原川中学校 卒業
1993年(平成5年) 大分県立大分舞鶴高等学校 卒業
1997年(平成9年) 大阪経済法科大学 卒業
大分市農業協同組合 入組
2003年(平成15年) 大分大学大学院経済学研究科 修了
大分市農業協同組合 退職
大分大山町農業協同組合 入組
2004年(平成16年) 大分大山町農業協同組合 退職
農業生産法人(有)西日本農業社を設立

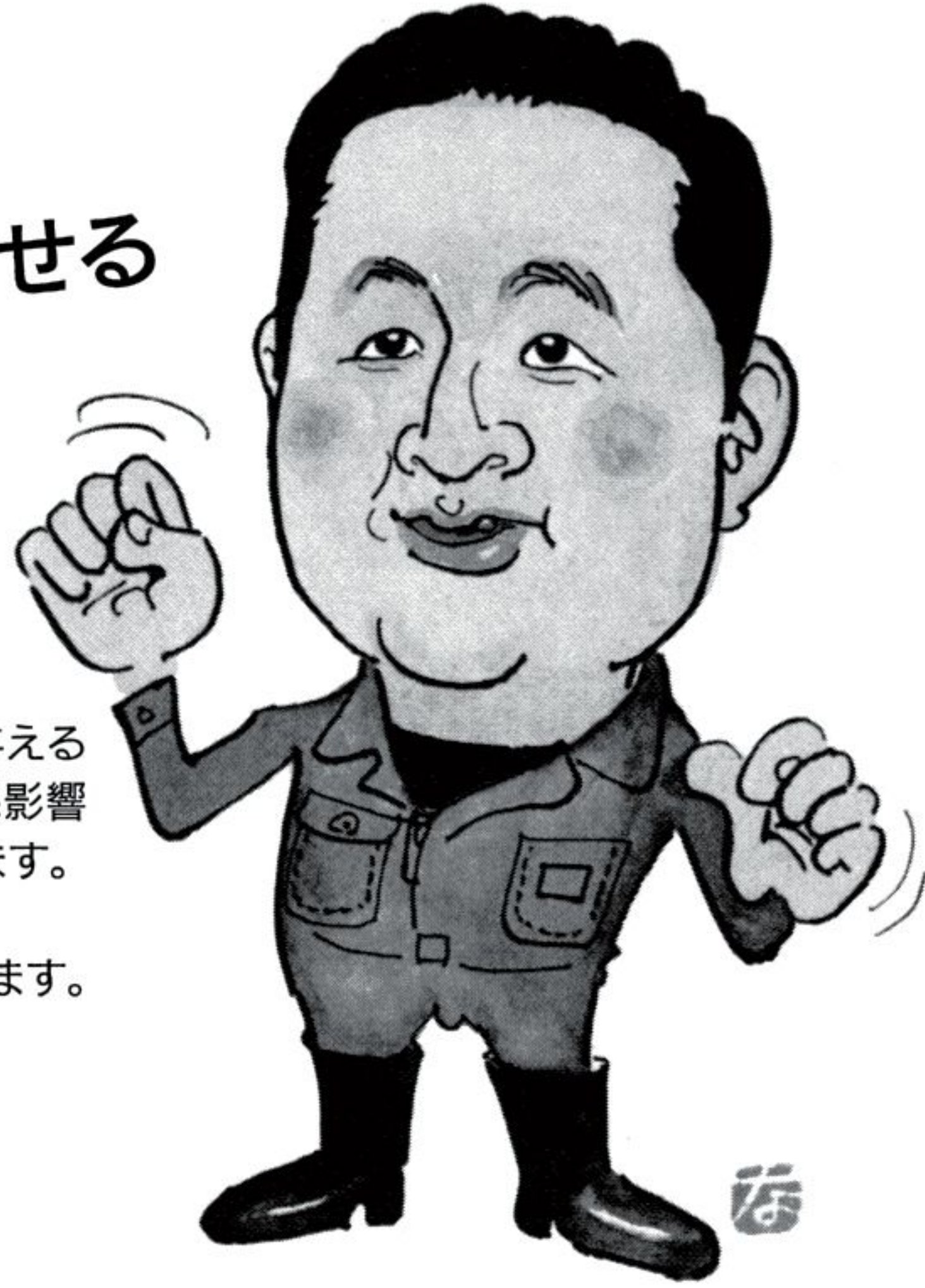
【現在の役職】 (株)西日本農業社 代表取締役
臼杵大しゅうが生産組合 組合長
【趣味】 読書(主に農業書)
【好きな言葉】 農を尊び、徳を持って人を導く
【家族】 妻と娘(4歳)

私たちも応援します!

元内閣総理大臣 **村山 富市**
参議院議員 **吉田 忠智**
衆議院議員 **吉川はじめ**

大地から起つ!!

社会を耕し、
若者を育て、
日本を实らせる



農山漁村の暮らしが大事 TPP反対!!

- ・農山漁村を衰退させ、一次産業に壊滅的な打撃を与えるばかりか、保険や共済、食品安全など日本社会に悪影響を及ぼす可能性のあるTPPには断固として反対します。
- ・若者の農林漁業への新規参入を支援します。
- ・環境機能を重視した直接支払い制度の創設をめざします。

恒久平和の心を持ち続けよう 平和憲法はそのままに

- ・「戦争は二度としない」が日本の決意です。憲法9条を守り抜きます。
- ・憲法は国家権力の暴走を防ぐもの。簡単に変えてはいけません。96条を変えることには反対します。
- ・「基本的人権の尊重」など憲法理念をもっと政治に活かします。
- ・変えるべきは、沖縄の人たちを苦しめ続ける「日米地位協定」です。

facebook「大地から起つ」
ぜひご覧ください。

大地から起つ

検索

忘れてはいけない3.11福島 の教訓 脱原発社会を!!

- ・復興予算の無駄遣いを許さず、被災者に寄り添った震災復興を進めます。
- ・福島の人たちの苦しみ、悲しみを思えば、原発再稼働など決して言えません。
- ・何百年、何千年と管理しなければならない放射性廃棄物をこれ以上増やしてはいけません。太陽光発電や風力発電、地熱発電や小水力発電などエネルギーの地産地消をすすめます。

確かな雇用で若者に夢と希望を! 賃上げこそがデフレ脱却の道

- ・学校を卒業しても、非正規雇用の就職では将来は見えません。若者が安心して働ける雇用と人並みに暮らせる賃金を!
- ・若者の年金制度への信頼回復と社会保障の充実をめざします。
- ・GDP(国内総生産)の6割を占める内需の拡大で、景気回復につなげます。

安心の教育と きめ細かい子育て支援を

- ・子どもたちに目の届く少人数学級や複数担任制を実現します。
- ・教育予算を先進国並みに引き上げます。
- ・安心して2人目の子どもが産めるよう、第2子誕生時の夫の産休制度を創設します。



ごとう慎太郎
しんたろう

実感を、その手に。

自民党

プロフィール

昭和32年 大分市上野に生まれる
私立愛隣幼稚園、金池小、佐伯小、上野ヶ丘中を経て、大分舞鶴高校卒業
昭和57年 東京大学法学部卒業
自治省に入省
平成10年 堺市財政局長
平成14年 内閣官房内閣参事官
平成16年 総務省国際室長
平成18年 総務省大臣官房参事官を最後に退職
平成19年 第21回参議院議員通常選挙大分選挙区で当選
平成20年 自民党国会対策委員会副委員長
平成22年 参議院総務委員会筆頭理事
参議院予算委員会理事
平成23年 自民党憲法改正起草委員会事務局長
平成24年 参議院文教科学委員長
内閣総理大臣補佐官

元気な日本を取り戻す



自由民主党公認
内閣総理大臣補佐官
いそぎ陽輔
ようすけ
(55歳)

『景気回復に がんばります』

1 景気回復

金融緩和、財政出動、成長戦略のいわゆる3本の矢を一層推進し、中小都市で、中小企業で、そして私たちの身の回りで、景気回復の植音が一刻も早く聞こえるようまい進します。

2 外交改善

首脳外交を通じて日米間の強力なパートナーシップを取り戻し、それを基軸として、近隣諸国との友好関係を回復させます。あわせて、北朝鮮拉致被害者の救出に全力を尽くします。

3 地域振興

地方公共団体に対する大規模な地域振興策を講じ、地域の資源を活用し、地域の特色を活かした農林水産業、中小企業、観光、福祉医療などに関する政策を実現させます。

参議院議員通常選挙



投票日は

7月21日(日)

大分県選挙管理委員会